

平成27年度 中央区立久松小学校 自己評価報告書

中央区立久松小学校 住所 東京都中央区日本橋久松町7-2
校長 酒井 寛 昭
児童数 506人 学級数 17 教職員数 27名(44名)

教育目標 「強 く」「正 し く」「豊 か に」

- 心身ともに健康で、自律と自立のための強い意志と向上心をもち、自らよりよい成長を目指す。
- ものごとを正しく見つめ、正しい判断と行動のできる主体性を身に付ける。
- 豊かな心情や創造性を高め、互いに尊重し合い、思いやりの心をもち、共生社会の担い手となる。

1 27年度の重点

生きる力の育成（主体性、関わる力、健康・体力）

重点目標1 「豊かな心と健やかな体の育成」・・・知・徳・体のバランスと調和を重視し、
二極化の解消をめざす 特に豊かな心と健やかな体を育てる。

- 評価項目 (1)・違いを認め、互いに尊重し合い学び合う集団づくりを通し温かい人間関係を育む。(関わる力)
- ・小集団活動の推進
 - ・異年齢活動・交流活動の推進
- (2)・体育・保健学習・食育を重視した健康教育を通して自らの健康・体力についての関心を高め自己管理能力を育成する。(健康・体力)
- ・体育・保健学習・食育の充実
 - ・ロング放課後遊びの実施
 - ・マイスクールスポーツの充実
- (3)基本的な生活習慣、ルール・マナーなどの規範意識の定着を図る。(主体性・関わる力)
- ・「返事・挨拶・ありがとう」や久松しぐさの指導の充実
 - ・5分前行動の徹底
- (4)・物事を正しく見つめる力、自ら課題を解決し実行できる力を育てる。(主体性・関わる力)
- ・学び合いや体験を重視した課題解決型学習の実施
 - ・少人数指導の徹底と個に応じた指導の充実



豊かな心、思いやりのある心、基本的な生活習慣の定着、
関わる力・コミュニケーション能力の育成（小集団活動・体験活動の充実）
重点化した教育課題の全体計画の修正と実行(生きる力全て)

- 評価指標 (1)・認め合い励まし合える小集団活動 ・幼稚園との交流、全校縦割り（異年齢）活動
- (2)・休み時間、ふれあいタイム、なわとびカード、なわとび名人、夏季水泳教室
- ・学びを深める小集団活動、5・6年お弁当づくり、器械運動・水泳サポート教室
 - ・ロング放課後遊びの充実
 - ・保健学習や食育の指導時間と内容
- (3)・登下校・授業での挨拶、年間を通した久松しぐさ、勤労感謝集会 ・全校朝会、集会活動
- (4)・課題解決能力を高める小集団活動 ・算数少人数指導、個に応じた課題解決学習
- ・学力調査（国・都・区）
 - ・体験重視
- ※(1)～(4)の共通評価指標：教員・保護者・児童アンケート、外部評価委員の評価（8割以上）

重点目標2 「年間を通した教育課程の充実」

- 評価項目 (1) 次期学習指導要領の改訂点の確認と実践、変わらぬ部分の確認と実践 理数系・体力・外国語活動
- ・道徳・教育計画（年間指導計画・重点化した教育課題の全体計画・評価規準）、土曜授業
- (2) 安全教育の重視（生活・交通・災害安全）増築及び改修工事への対応 避難訓練・安全指導
- (3) オリンピック・パラリンピック教育の展開（豊かな心と健やかな体の育成へ）
- (4) 学校評価の積極的な活用 アンケート・外部評価の充実と活用
- ・学校だより、運動会・展覧会、外国語活動等の授業公開、土曜授業公開、外部評価委員会
- 評価指標 ※(1)～(4)の共通評価指標：教員・保護者・児童アンケート、外部評価委員の評価（8割以上）

2 27年度の達成状況と取組状況

重点目標1 「豊かな心と健やかな体の育成」の達成状況と取組状況

すべての評価指標について9割以上の達成率であった。課題解決能力、基本的生活習慣、小集団活動、異年齢交流、健康教育の推進等確実に成果が表れており、日頃の児童の言葉や行動にも表れている。今年度は、増築工事の中での教育活動であったが、時間や場所を工夫し成果を上げることができた。

しかし、自ら課題を解決し実行する力、互いを尊重し温かい人間関係を築く力、体力向上については、引き続き二極化の状況が見られる。増築棟の施設を有効に活用し、今まで以上にきめの細かい指導を充実させるとともに、地域社会や保護者と連携して取り組んでいきたい。

重点目標2 「年間を通した教育課程の充実」の達成状況と取組状況

すべての評価指標の項目について、9割以上の達成率であった。「強く・正しく・豊かな」児童を育成するための教育課題ごとの全体計画と年間指導計画を、次期学習指導要領の改訂点を踏まえて見直すことができた。また、学校公開や授業参観、行事のたびにアンケートを取り、教育活動に反映させることで、保護者や地域社会と連携した取組を行うことができた。学校便りの活用や授業参観、学校公開、行事のもち方については、様々な御提案をいただいているので、さらによりよい教育課程の充実に努めていきたい。

3 28年度に向けた取組

1 関わる力を育む教育の推進

- ・異年齢活動、幼稚園・保育園との交流活動、世界を含む校外の方々と直接・間接の交流
- ・小集団活動と言語活動を核としたアクティブな教育活動によるコミュニケーション能力の育成
- ・宿泊・遠足等行事、勤労感謝集会、地域ボランティア、一年生サポーター、水泳サポーター等の体験活動

2 主体性を育む教育の推進

- ・小集団活動や体験的な活動の充実による個性や能力の伸長
- ・一人一鉢の環境美化、屋上ビオトープ・太陽光を活用した環境教育の推進
- ・「自主・自律」の精神の意識付け、年間を通した「久松しぐさ」への取組
- ・少人数指導学習、朝学習の時間や放課後の時間の活用、夏季補習、夏季水泳サポート教室、マット・跳び箱サポート教室等による基礎的・基本的な内容の確実な定着

3 健康と体力向上を目指す教育の推進

- ・体育の授業の充実、マイスクールスポーツ「なわとび」「水泳」への取組
- ・ロング放課後遊びの設定、朝遊び、中遊び、昼遊びの工夫・活用
- ・トップアスリート等による講演会・スポーツ教室の実施
- ・オリンピック・パラリンピック教育の充実、そのための全体計画・年間指導計画の見直し

4 家庭・地域社会と連携した教育の推進

- ・保護者・地域社会の学生等による学習サポーターとの連携
- ・プラスバンド指導、わんぱく相撲、羽根つき等での保護者をはじめとする多様なサポーターとの協力
- ・障害のある方との交流の実施